

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公表番号】特表 2004-501320(P2004-501320A)
 【公表日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-002
 【出願番号】特願 2002-507178(P2002-507178)
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 B 39/00

F 1 6 J 1/00

【F I】

F 0 4 B 39/00 1 0 7 B

F 0 4 B 39/00 1 0 4 D

F 1 6 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 2 月 10 日 (2003.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

この目的は、本発明の請求項 1 の特徴部分によって達成される。

シリンダジャケット面セクタの形状を有し、実質的にピストンの移動方向へ延びた幾つかの狭いブリッジ状封止および案内面部の形成の結果、ピストンは、下死点のゾーンでシリンダの外に比較的多くの部分が導かれ、突出部はシリンダ内へ容易に再導入できるが、それは、全体のプロセス中、十分な封止および案内面部が常に十分にシリンダ壁と接触しているからである。ブリッジの単に狭い配置の結果、システムにおける摩擦の際立った減少を同時に可能にする。一方のピストン側が接続ロッドの回転運動によってより強く緊張されるが、シリンダジャケットセクタ状の封止および案内面部は、ピストンの弱く緊張された側に置かれた部分よりも強い配置を有して備えることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 6 の態様は、本発明によるピストンの好ましい実施例を述べている。

請求項 7 の態様は、摩擦の付加的な減少と、同時に重量の節約を可能にする。

本発明と従来技術との詳細な記述は、添付した図面を参照することによって提供される。